

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	振動ドリル EID-650VA	お買 上げ日	保証期間
		年月日	1年
お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話	()	
販売店	住 所		
	店 名	☎	()

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

近畿支店：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

中部支店：〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16

九州支店：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220

鹿児島営業所：〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号

広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11

東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9

熊谷営業所：〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1

札幌営業所：〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号

仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1

神奈川営業所：〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードリーム1階

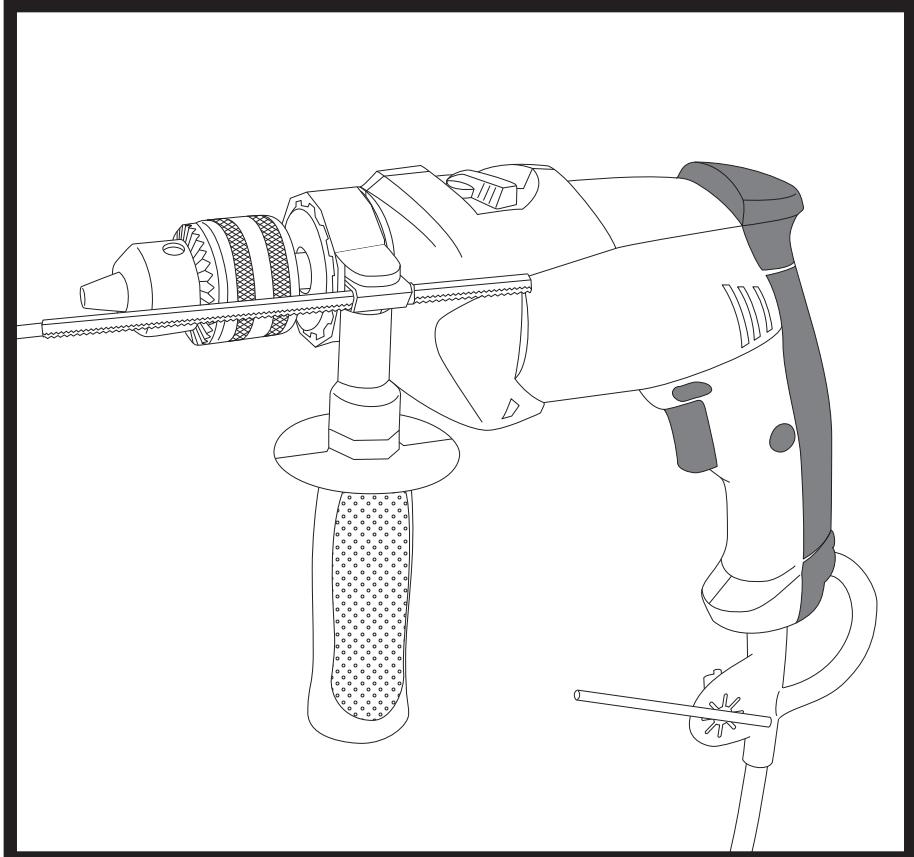
金沢営業所：〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256

E·Value

EID-650VA

振動ドリル

取扱説明書



このたびは **E·Value** 振動ドリルをお買上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

目 次

1. 安全上のご注意	P.1～3
2. 振動ドリルを安全にご使用いただくために	P.4～5
3. 主要機能	P.5
4. 各部の名称	P.5
5. ご使用方法	P.6～8
・ サイドハンドルの取り付け方	P.6
・ キリの取り付け方	P.6
・ ドリル刃の取りはずし方	P.6
・ チャックハンドルの収納	P.6
・ 深さゲージの使い方	P.6
・ スイッチの操作	P.7
・ 正逆転切り替えレバーの操作	P.7
・ ドリル・振動ドリルモード切り替えノブの操作	P.7
・ 穴あけ方法	P.7
・ 振動ドリルとして使用する場合	P.8
・ ドリルとして使用する場合	P.8
6. 保守、点検について	P.8
7. 分解図・部品表	P.9

安全上のご注意

⚠️ 警告 安全確保のために

- 安全に正しくご使用いただくために、すべての取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いなる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠️ **警告** この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠️ **注意** この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。「⚠️ 注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

🚫 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



⚠️ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



電動工具を安全にご使用いただくために

⚠️ 警告

■ 作業場について



作業場はいつもきれいに明るく保ってください。

● ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。

● 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所や作業台は事故の原因となります。



作業場の周囲状況も考慮してください。

● 爆発を誘引しがちな可燃性の液体、ガスや粉じんのある所では使用しないでください。電動工具はこれらを発火させることができます。また、作業者以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

● 電動工具使用中は、作業者以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。また、作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。



騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

■電気に関する安全事項



- 電源は正しく接続してください。感電の危険が低減されます。
- 電源コンセントは電源プラグに合致するものを使用してください。
- 電源プラグは改造しないでください。
- アダプタプラグを併用する場合は、正しく接地(アース)してください。



- 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



- コードを乱暴に扱わないでください。感電の危険が増大します。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがったところや動くものに近づけないでください。
 - 重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電の危険が低減されます。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



- アース機構(アースクリップ、アース端子ねじ等)を有する電動工具は、必ず接地(アース)してください。
- 接地をしないと故障や漏電の時、感電する原因になります。
 - 接地は、プラグの横から出ているアースクリップや本体のアース端子ねじにアース線を接続してください。
 - テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アース端子ねじと工具本体の金属外郭部間の導通を確認してください。
 - アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄の電気工事店に相談してください。
 - 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に、接続されますことをお勧めします。
 - 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。



- 労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条



- アース線をガス管に接続しないでください。
●爆発のおそれがあります。
- アース機構を有する電動工具に延長コードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- アース線のない2芯コードの使用は、感電の原因になります。



- 二重絶縁構造
●このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので接地(アース)する必要はありません。

■人的安全性



- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。一瞬の不注意で深刻な人の障害をもたらすことがあります。
- 電動工具を使用する場合は、自分が何をしているか、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して、常識をはたらかせて慎重に作業してください。
 - 疲れていたり、アルコールや薬を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。



- 安全保護具を使用してください。
- 作業時は保護メガネを着用してください。
 - 粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
 - 屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - また、必要に応じて、滑り防止安全靴、ヘルメットなど必要な安全保護具を使用してください。



- 不用意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - スイッチがオンになった電動工具のプラグを差し込むと、不意に回りだすので危険です。



- 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。人の傷害をもたらすおそれがあります。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。



- 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。
- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)



- 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



- きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - 髪、服及び手袋などを回転部に近づけないでください。



- 集じん装置が接続できるものは接続してください。粉じんを減少させることができます。
- 集じん装置が接続できる場合は、装置を確実に接続し、正しく使用してください。



回転部注意

■工具の使用と手入れ



- 無理して使用しないでください。
- 用途に合った正しい電動工具を使用してください。異なる用途に無理に使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するため、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。



- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。危険ですので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 可動部分などの位置調整を行う場合。
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - 使用しない、または修理する場合。
 - その他危険が予想される場合。



- 使用しない場合は、きちんと保管してください。子供や不慣れな者が使用すると危険です。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。



- 損傷した部品がないか点検してください。整備不良は事故の原因になります。
- 使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



- 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。



- 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



- 使用環境温度について
- 25°Cでの使用を前提としています。なお、時折35°Cになることも想定しています。

■整備・修理



- 電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。修理は、お買い求めの販売店にお申し付けください。
 - 電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。

振動ドリルを安全にご使用いただくために

●先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、振動ドリルをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

⚠ 警告



- 騒音から保護するため、耳栓を着用してください。
- 騒音にさらされると難聴になることがあります。

防音保護着用



- 付属のサイドハンドルを使用し、本機を確実に保持して反動に備えて作業をしてください。
- 制御不能になると材料や、本機が急に跳ねたりして人身事故の原因になります。

■使用電源について



- 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、ケガの原因となります。



- 延長コードは損傷のないものを使用してください。
延長コードはできるだけ短く(10m以内)、また本機取り付けの電源コードより太い工具用キャブタイヤコードをご使用ください。
ドラム式の延長コードをご使用の際は、コードを全部引き出してご使用ください。
●巻いた状態のまま使われますと過熱事故の恐れがあります。

■ドリル刃について



- ドリル刃やその他にひび割れなどの異常が無いことを確認してください。
万一ひび割れなどの破損がありましたら、新しいものと交換してからご使用ください。

点検・確認



- 誤って本機を落としたり、ぶつけたりした場合は、ドリル刃などの工具や機体などに亀裂や変形などの破損が無いか十分に確認してください。
●破損したままご使用になりますとケガの原因となります。

電源プラグを抜く



- 細径のドリル刃の使用は、折れやすいので十分に注意して作業してください。
ドリル刃の取り付け、取りはずしのときはスイッチを切り、プラグを電源から抜いて作業をしてください。
又、電源にプラグを差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。
●不意に回転すると、人身事故の原因になります。

■作業準備について



- 適切な保護具を使用してください。
作業時には、ヘルメット・安全靴を着用してください。
目に入らないよう保護めがねを着用してください。

保護メガネ着用



- 高所での作業の際は、下に人がいないことを確認してください。
●材料や機体を誤って落とすと、重大な事故につながります。

点検・確認



- 作業箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋没物が無いことを、作業前に十分確認してください。
●埋没物がありますと、ドリル刃などの工具が触れ、感電や漏電、ガス漏れの危険があり事故の原因となります。

点検・確認



- 作業の前に材料を確実に固定してください。
●制御不能になると材料や、本機が急に跳ねたりして人身事故の原因になります。

よく読む

- 工具類(ドリル刃など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
●確実ないと、はずれたりして、ケガの原因になります。

■振動ドリル作業について



- 電源コードはドリル刃から離してください。
●本機が制御を失った場合、コードが切断されたり引っ掛けたりして、手又は腕がドリル刃に引き込まれることがあります。



- 使用中、回転部に衣服が巻き込まれないように十分注意してください。
特に手袋を着用しながらの作業は危険ですのでお避けください。

- ドリル刃との不測の接触で着衣や手袋が引っ掛け、ドリル刃を身体に引き込む恐れがあります。



- 使用中に、ドリル刃や回転部分、また切粉排出部などへ、手や顔などを近づけないでください。
●ケガの原因となります。



- 回転させたままの状態で、台や床の上に置かないでください。
●本機が飛び跳ねてケガの原因になります。



- 本機の定格使用時間は30分です。それ以上の連続負荷作業はしないでください。
●故障の原因になります。



- 本機が熱を持った場合は、無負荷運転を2分程度行った後、機体の温度が十分に下がるまで休ませてください。



- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
●そのまま使用していると、ケガの原因となります。



- 使用直後のドリル刃や切粉に触れないでください。
●非常に高温になっていますのでやけどの原因となります。

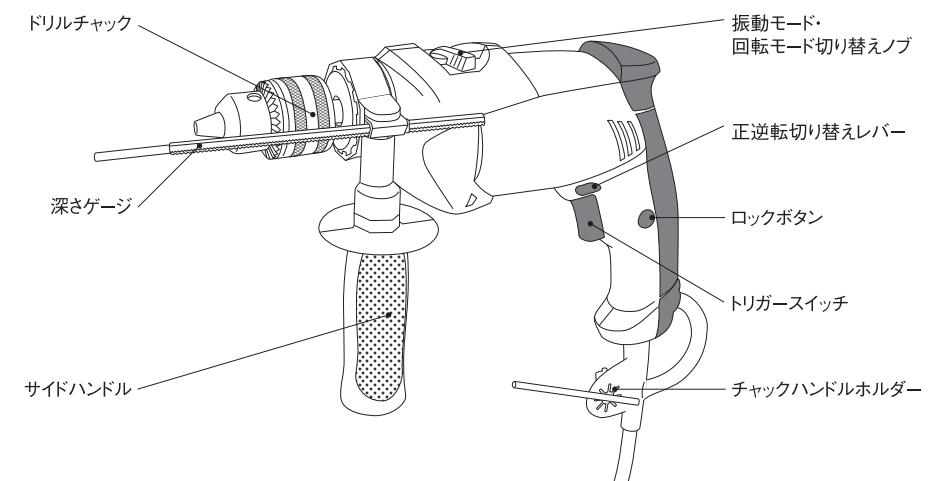
高温注意

主要機能

形 式 名	EID-650VA
電 動 機	直巻整流子モーター
電 圧	100V
電 流	7.0A
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	650W
定 格 時 間	30分

最 大 穴 あ け 能 力	コンクリート 13mm 鉄工 10mm 木工 21mm
チ ャ ッ ク 能 力	13mm
打 撃 數	0~46800回/分
回 転 數	0~2600min ⁻¹
寸 法	長さ 約265mm × 高さ 約215mm × 幅 約65mm
質 量	約2.5kg

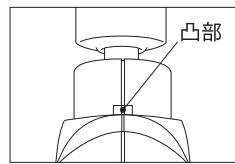
各部の名称



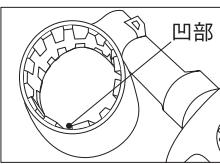
ご使用方法

■サイドハンドルの取り付け方

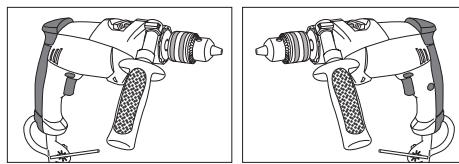
- ・サイドハンドルは右図のように本体に取り付け、しっかりと締め付けてご使用ください。
- ・サイドハンドルは360度回すことができます。作業のしやすい位置に固定してご使用ください。
- ・サイドハンドルには凹があるので、本体の凸にはまる位置にセットして、しっかりと固定して下さい。（下図aとb参照）サイドハンドルのセットはどちらからでもセットできます。なお、深さゲージを使用しますと本体と深さゲージがあたって、サイドハンドルが回らない位置もあります。



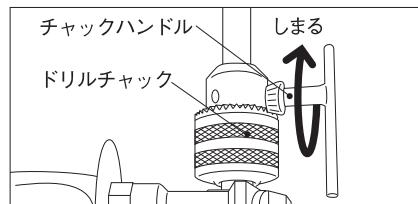
図a



図b



どちらからもセット可能です



■キリの取り付け方

- ・ドリルチャックの3ヶ所の穴のうち1ヶ所の穴にチャックハンドルを差し込み、左へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。ドリル刃を差し込み、チャックハンドルを右へ回して締め付けてください。この際、1ヶ所だけを締め付けず3ヶ所を均等に締め付けてください。

■ドリル刃の取りはずし方

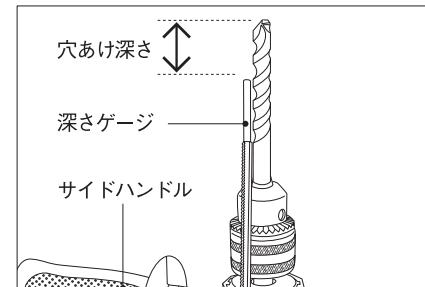
- ・取りはずす場合は、ドリルチャックの穴にチャックハンドルを差し込み、左へ回してゆるめ、ドリル刃を抜き取ってください。

■チャックハンドルの収納

- ・チャックハンドルは、チャックハンドルホルダーに取り付け、収納してください。

■深さゲージの使い方

- ・同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。
- ・深さゲージはグリップをゆるめ、サイドハンドル上部の穴に差し込んでください。
- ・お望みの長さに調節してください。調節後はサイドハンドルをしっかりと締め付けて固定してください。



■スイッチの操作

- ・トリガースイッチは引くと電源が入り、離すと電源が切れます。トリガースイッチを引いてからロックボタンを押し込むと、スイッチが固定され連続運転します。停止させるにはもう一度スイッチを引いてロックボタンが戻ってから、スイッチを離してください。
- ・スイッチは引き加減により回転数および打撃数が変化します。

■正逆転切り替えレバーの操作

- ・回転方向を替えるには、正逆転切り替えレバーを図1の側にすると右回転（正転）になります、レバーを図2の側にすると左回転（逆転）になります。レバーを図3の位置にするとロックされます。

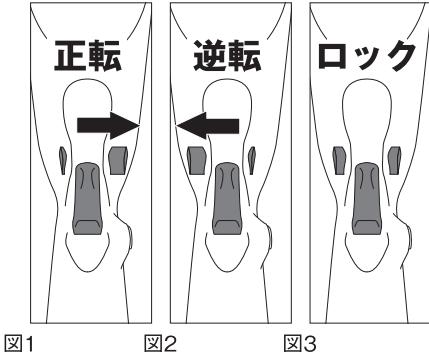


図1

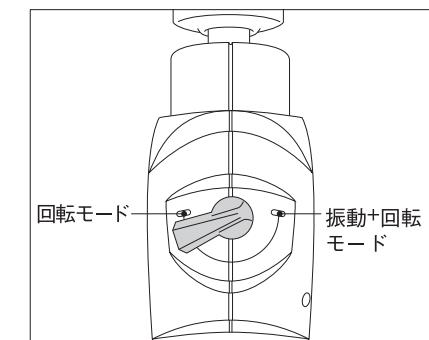
図2

図3

- 注・ご使用前に必ず回転方向を確認してください。
・正転・逆転の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。運転中に切り替えますと故障の原因となります。

■ドリル・振動ドリルモード切り替えノブの操作

- ・ワンタッチで「回転のみ」と「回転+振動」の切り替えができる、振動モード・回転モード切り替えノブがついています。
- ・「回転のみ」（ドリルモード）で使用されるときは、本体上部の「ドリル」マークのついている側にノブをカチッと音がなるまでしっかりと回してください。
- ・「回転+振動」（振動モード）で使用されるときは、本体上部の「ハンマー」マークのついている側にノブをカチッと音がなるまでしっかりと回してください。



- 注・振動モード・回転モード切り替えノブは確実に回してください。中間の位置で使用されますと、故障の原因になります。

■穴あけ方法

⚠ 警告

- ・穴が貫通する直前は、ドリル刃が折れたり、機械に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴のあき具合を確認しながら慎重に作業してください。けがの原因になります。
- ・ドリル刃を逆転させて抜くときは機械が振り回される恐れがありますので機械をしっかりとからスイッチを入れてください。
- ・確実に保持していないと、けがの原因となります。

■振動ドリルとして使用する場合

- ・ドリル刃は超硬ドリル（振動ドリル用）を使用してください。
- ・コンクリートやレンガなどの石材に穴あけされる場合は、本体上部の振動モード・回転モード切り替えノブを「ハンマー」マークのついている側にカチッと音がなるまで、しっかりと回してください。
- ・深い穴で粉塵がつまるときは、超硬ドリルを回転しながら2~3回、穴より出し入れさせて、粉塵を排出してください。
- ・本機は最大穴あけ径13mmの能力を持っていますが、長期間ご使用いただくために、最大能力の約60%（8mm）までの穴あけをご使用いただくことをお勧めします。

■ドリルとして使用する場合

- ・金属や木材、タイルに穴あけされる場合は、本体上部の振動モード・回転モード切り替えノブを「ドリル」マークのついている側にカチッと音がなるまで、しっかりと回してください。

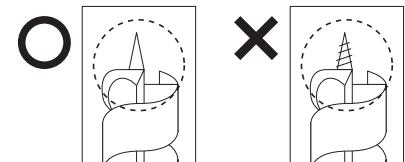
金属への穴あけ

- ・金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンターポンチでクボミを作り、そのクボミにドリル刃の先をあてがえば、先がすべらずに正確な位置に穴あけができます。穴あけ時にはドリル刃の先に切削油（マシン油など）をつけて作業してください。
- ・直径が10mmの穴あけをされる場合は、あらかじめ、穴あけされるサイズの50~60%を目安とした下穴加工をしてください。（例）10mmの場合、5~6mm。また、回転は低くして使用してください。
- ・ステンレスへの穴あけの際は、回転を低くし、ドリルが喰い付くように荷重を強くして押し込むように加工してください。

木材への穴あけ

- ・φ18mm以上の木材穴あけをする場合は、下記の図にあるような先三角になっている木工キリをご使用ください。

大口径の穴あけ時には、機械に大きな力がかかり、振り回される恐れがあり、ケガの原因となります。その際に、先がねじ状になった木工キリを使用されていますととっさにスイッチを離しても、回転が止まらないことがありますので危険です。

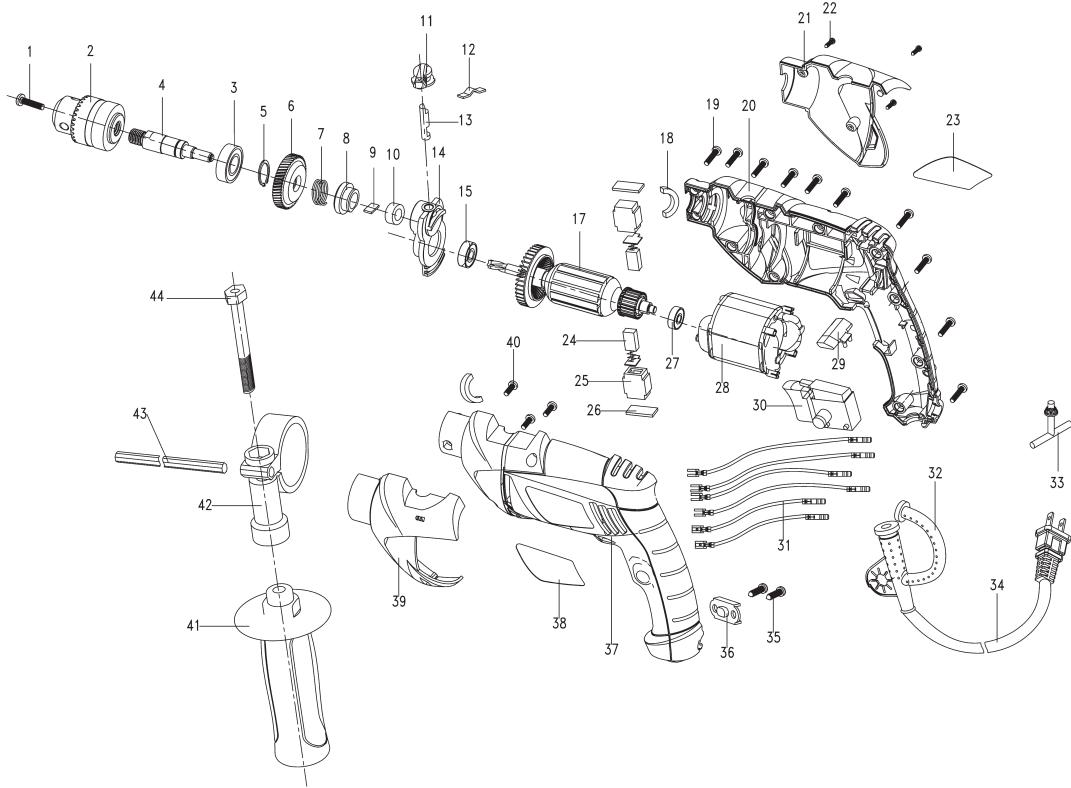


- 注**・機械を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、機械の寿命も短くなります。

保守、点検について

- ・ご使用後は、切粉・粉塵を本体から、きれいに取り除いてください。特に細かい粉塵は、本機のモーター・スイッチ等に不具合を起こす原因となります。
- ・本体の汚れは、固くしぶったウエスなどで拭き取ってください。シンナー・ベンゼン・ガソリンなど有機性の液体はご使用にならないでください。
- ・定期的にチャック、チャックハンドルに注油を行い、サビないようにメンテナンスを行ってください。
- ・ご使用中に機械の調子が悪かったり、異常を感じられた際はすぐに使用を中止し、お買い求めいただいた販売店へ点検・修理を依頼してください。ご自身で分解・改造等は、絶対にしないでください。

分解図・部品表



番号	部品番号	数量	部品名
1	DS.ID4.0-6	1	チャック固定用ネジ 1/4-20UNFX32
2	---	1	ドリルチャック PEACOCK J3513J
3	GB/T276-94	1	ペアリング6002-2RS
4	DS.ID5.0.1-1	1	シャフト
5	GB894.1-86	1	ブロックリング
6	DS.ID1.0-10	1	ギア
7	DS.ID1.0-4	1	スプリング
8	DS.ID2.0-2.1	1	インパクトダイアル
9	DS.ID2.0-2.2	1	スケールボード
10	GB/T290	1	ニードルペアリング
11	DS.ID5.0.3-1	1	切替ノブ
12	DS.ID4.0-3	1	リード
13	DS.ID5.0.3-2	1	切替ボル
14	DS.ID5.0.2-1	1	ブラケット
15	GB/T276-94	1	ペアリング608-2Z

番号	部品番号	数量	部品名
16	部品無し	-	---
17	DS.ID5.0.13	1	ローター
18	DS.ID5.0.1-2	2	クッション
19	GB845-85	10	ネジ19mm長
20	DS.ID5.0.5	1	ハウジング(右)
21	DS.ID5.0-6	1	オルミカバー(右)
22	GB845-85	3	ネジ8mm長
23	DS.ID5.0.4	1	銘板シール
24	DS.ID2.0-20	2	カーボンブラシ
25	DS.ID5.0.13.A	2	ブラシホルダー
26	DS.JS7.0-9	2	フラッシュボード
27	GB/T276-94	1	ペアリング626-2Z
28	DS.ID5.0.12	1	ステータ
29	DS.ED4.0-1	1	正逆切替レバー
30	DS.ED4.0.6	1	スイッチ

番号	部品番号	数量	部品名
31	---	6	リード線
32	DS.ID5.0.-2	1	コードガード
33	---	1	チャックハンドル
34	TY.DYX1.1	1	電源コード
35	GB845-85	2	ネジ13mm長
36	TY.YB2.3	1	コードクランプ
37	DS.ID5.0.4	1	ハウジング(左)
38	DS.ID5.0.-3	1	本体ラベル
39	DS.ID5.0.-5	1	アルミカバー(左)
40	GB818-85	3	M4x6
41	DS.ID3.0.4-3	1	サイドハンドル
42	DS.ID5.0.F1-1	1	ハンドルクランプ
43	GB5780-86	1	深さゲージ
44	DS.EH1.0.10-2	1	ボルトM8×75